

第3回狛江市の新図書館を考える市民ワークショップ（2021年12月12日開催）の意見

グループ名：おもち	
項目	意見
図書館・図書室等それぞれの役割について	
パターン1：新図書館と図書コーナーで全く異なるサービスを提供	
新図書館	中央館機能 ・調査 ・保存 ・全域サービス etc
	新図書館のサービスは本の貸出だけでなく、レファレンス機能を充実させてほしい。
	新図書館では中高生の学習スペースを出来るだけ確保願いたい。
	新図書館では講演会が出来たり、地域のサロンのなスペース（映画会なども開催出来る場所）を確保していただきたい。
	たいざい型図書館を 通路
	IT化 電子書籍以外 ネット接続PC 外部データベース利用
	電子書籍の導入は線びきが必要 児童には紙の本中心の蔵書を!!
	1F こども室 2F 一般室（大人室） ※騒音防止
	機能 分けるしかないのでは……!!
	本のある場所は分割して欲しくない!!
図書コーナー	図書コーナーにはお子さん（就学前）が親御さんが役所へ来られるのと一緒に本を見に来るケースもあると思うので、そのような年齢のお子さんのコーナー（図書室）を設ける合理性があるのではないかな。この場合は重複も有。
	図書コーナー 予約本 受取りもしくはサードプレイス（WiFi）
	図書コーナー 学習室 コワーキングスペースetc 2ヵ所回らなくてすむ
	図書コーナーには公民館活動、市民活動に資する書籍を置くべきではないか
	その場合、従来の日本図書分類？による分類が適切かという問題が出て来る。
	「分野」別の書架があった方が便利かもしれない。（図書館の方には大変ではあるが。）
図書コーナー 本を置くなら職員も置いてほしい	
パターン2：新図書館と図書コーナーで一部重複するサービスも提供	
新図書館	-
図書コーナー	-
その他のサービス等	西河原公民館は立地上多摩川に近いので多摩川に関する書籍を多く置く場所にしてはどうか。 希望する電子書籍を デジタル格差をつくらない（インターネット環境）
その他	市民センター図書室がいい 両方行かなくてすむ ・位置づけ ・機能 ・スペース が先 分割・分散はサービス低下だから図書コーナーは新館と分離す 前提条件厳しすぎる！
市立図書館が今後目指す方向性（案）について	
基本的考え方	資料提供を通して家庭・仕事・地域課題解決支援
	全域サービス どこに住んでいても均しいサービスを!
	誰にとっても利用しやすい図書館 バリアフリー 多世代 障がい者 など
	各図書室と連携でネットワーク化するのは必須だと思います。
	基本的な考え方について大きな方向性としては同意です。 ○知の拠点 ○むすぶ・つなぐ機能
	蔵書をとるか？スペースをとるか ⇒ 両方は無理
	市民提案書では2,612㎡→1,100㎡で足りる？足りない! サービス提供可能か？（広さ）不可能
サービス・資料の考え方	調べたいことを、すぐにアドバイスできるように
	サービスとしては「レファレンス」は絶対充実させて下さい!!
	あと”狛江らしさ”を発揮して欲しい。市民ボランティアによる企画などを是非、可能な範囲で取り入れていただきたい。
	個々人が本を借りる場というより、本を介して人がつながる図書館を目指してもらいたい!!
	その他にも私的図書室・コーナー（まちなか図書館）との連携もぜひ検討いただきたい。
	非常時の避難場所にも対応
	書庫スペースの確保
	近隣図書館を参考に（見学を） 今年のライブラリーオブザイヤーなどの授賞図書館等の授賞理由についても踏まえた図書館を考えていきたい。

グループ名：とら

項目	意見
<b>図書館・図書室等それぞれの役割について</b>	
<b>新図書館</b>	学ぶ 調べる 働ける 図書館
	⇒ ・働き世代 ・学生 ・在宅ワーカー ・学びたい方
	⇒ ・学び本 ・歴史資料 ・ビジネス本 ・問題集 等
	本以外 ・コワーキングスペース ・自習室 ・Web会議参加室（電話室）
	図書館を各イベント 市の業事の発信の場所にもする
	<新図書館> ・一般図書 ・特記（最も）した図書室 ・映像で、音で ・講演会・読書会
	専門書や資料は、こちら側へ
	資料室、調査コーナーは、こちら側
	各分野に必ず置いていないといけない書籍の充実。
	新図書館には、図書室機能の中で最も粕江のみの特徴＋一般書
従来からの図書館機能	
<b>図書コーナー</b>	「こども・子育て」が利用できる（する）機能はこちらへ
	図書コーナーは小学1年生になっていない子どもと親との場所にする。
	静かにしなくてもいい図書コーナー
	→・ファミリー ・子供 ・子育て世代 向け
	→・絵本 ・マンガ ・料理本 ・子育て本等
	市民どうしのふれあいの場 提供は、市民センター内
	視覚障害者などの点字図書 音訳図書 拡大図書など データベースとう
	・蔵書の拡張法 個人の貴重な蔵書を図書館を通じて公開する。 ・専門家への依頼
	町の本屋のような
	コントロール アナウンス アンナイ機能
<b>その他のサービス等</b>	<図書室>は……（5ヶ所＋新図書館内、専門書カテゴリー {1 2 3 4 5 6
	親子づれ、高齢者、子どもが使いやすい図書室。
	図書室は各地域にメリットを活かすべき
	<図書室>に人件費予算を組んで欲しい 管理者・説明
<b>その他</b>	<図書コーナー>パターン1、2以外でも良いのでは…… 各図書室、館の脳幹（？）
	<図書コーナー>○案内係 ○インターネットで各図書室の状況（・本の有無 ・混雑状況）
	<図書コーナー>日本と自満になるほどの（この時代に設置するのだから） ・やさしさと ・利便性
	・この時代に図書館を設立する…… ・市民が生きた機能
機能を重複させるか否かは、「市民センター」「駄倉」への要望で決める	
<b>市立図書館が今後目指す方向性（案）について</b>	
<b>基本的考え方</b>	—
<b>サービス・資料の考え方</b>	電子図書の充実
<b>考え方</b>	TRC-DLマガジン 電子雑誌閲覧サービス 実現して欲しい

**グループ名：おせち**

項目	意見
----	----

**図書館・図書室等それぞれの役割について**

**パターン1：新図書館と図書コーナーで全く異なるサービスを提供**

新図書館	cafeコーナー併設（小規模可）その場で本と親める
	活用しやすい新図書館、図書コーナーに対しご意見箱設置 必要に応じて改善
	幼児向きから大学生、社会人が利用出来る蔵書にする
	たくさん蔵書するためには、異なる機能をもった方が良い
	本の貸出しは、新図書館も図書コーナー（図書室）でも出来る
図書コーナー	絵本や童話中心で幼児や小学生が集えて読書できるスペース
	読みきかせの活動の中心にする（図書コーナー）
	図書コーナーには子供が喜ぶ本を置く。
	予約図書を受取返却の機能に絞る（図書コーナー）
	貸出・返却カウンターだけの施設は不要
	本の貸出しは、新図書館も図書コーナー（図書室）でも出来る[再掲]

**パターン2：新図書館と図書コーナーで一部重複するサービスも提供**

新図書館	-
図書コーナー	-
その他のサービス等	-
その他	-

**市立図書館が今後目指す方向性（案）について**

基本的考え方	施設	静かゾーンとにぎやかゾーンの設置
		他の人に迷惑にならない場所で数人が談笑できる場所
		車椅子で使いやすく
	職員	利用者と職員が対面できる機会を増やす
有資格職員の安定した存在の確保		
サービス・資料の考え方	宅配	図書の宅配サービス
	図書	調べるための図書の充実
		専門書の分類は出来るだけ細かくして欲しい
		事典などは出来るだけ新しいものを
	電子	電子図書を増やす。歴史本などPCでその場で見れるスペースを増やす
		国会図書館の電子本サービスの利用案内を進める
	学習・閲覧	窓に面した閲覧席が欲しい（カウンター型）
		勉強できるスペース、ちょっと話のできるスペースは残してもらいたい パソコンが自由に使えるスペースが1, 2ヶ所欲しい